

香里ヶ丘図書館建替工事設計業務
に係るプロポーザル

審査結果報告書

平成 29 年 8 月

香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会

平成 29 年 8 月 22 日

香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会
会長 下村 泰彦

香里ヶ丘図書館建替工事設計業務に係るプロポーザルについて、次のとおり審査結果を報告します。

1. 審査結果

香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会（以下「選定審査会」という。）は、評価基準に基づき厳正に審査した結果、次のとおり最優秀提案者と優秀提案者を選定しました。

最優秀提案者 : 株式会社 日立建設設計 西日本支社 (提案書番号 C-1)

優秀提案者 : 株式会社 徳岡設計 (提案書番号 B-1)

< 審査結果 >

評価項目	提案書番号		
	A-1	B-1	C-1
①業務実施体制の評価点	6.00	9.00	6.00
②技術提案書の評価点	57.00	60.00	75.00
まちづくり			
地域の在り方についての考え方	12.00	12.00	15.00
施設計画			
地域課題の解決に向けた考え方	12.00	12.00	15.00
配置計画及び敷地条件の制約についての考え方	8.00	10.00	10.00
施設内の空間についての考え方	9.00	12.00	15.00
維持・運営管理への配慮			
効率的な維持・運営管理の実現に向けた考え方	6.00	8.00	10.00
業務実施方針			
業務の実施方針	10.00	6.00	10.00
③価格提案の評価点	10.00	7.04	7.35
総合評価点 (100 点満点)	73.00	76.04	88.35

2. 香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会

	氏名	所属等
会長	下村泰彦	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科教授
副会長	加嶋章博	摂南大学 理工学部 建築学科教授
委員	川添賢史	第34期枚方市社会教育委員
委員	岸田陽子	ふせ法律事務所 弁護士
委員	原田隆史	同志社大学大学院 総合政策科学研究科（図書館情報学コース）教授

3. 最優秀提案者等の選定までの経過

日程	内容
平成29年4月14日	募集要項・評価基準等の公表
平成29年4月14日～平成29年4月21日	参加資格に関する質疑の受付
平成29年4月25日	参加資格に関する質疑への回答公表
平成29年5月2日～平成29年5月9日	参加表明書等の受付
平成29年5月10日～平成29年5月12日	参加資格審査の実施
平成29年5月12日	参加資格審査の結果通知（提案書の要請）
平成29年5月12日～平成29年5月19日	提案審査に関する質疑の受付
平成29年5月24日	提案審査に関する質疑への回答公表
平成29年6月30日～平成29年7月4日	技術提案書等の受付
平成29年7月18日	ヒアリング要請書・実施要項の送付
平成29年7月29日	ヒアリングの実施（公開） 提案審査の実施（最優秀提案者及び優秀提案者の選定）

4. 審査経過

（1）第1回選定審査会

期日 平成29年4月4日（火）

場所 香里ヶ丘図書館 2階 集会室

案件 ①開会

②挨拶

③委員紹介

④事務局紹介

⑤会長及び副会長の互選

⑥諮問

⑦審査会の運営について

⑧事業の概要について

⑨審査項目等について

⑩今後のスケジュール

⑪その他

(2) 第2回選定審査会

期日 平成29年7月16日(日)

場所 枚方市役所 別館4階 第3委員会室

案件 ①技術提案審査

②ヒアリングについて

③その他

(3) 第3回選定審査会

期日 平成29年7月29日(土)

場所 枚方市役所 別館4階 第3・第4委員会室

案件 ①ヒアリングの実施(公開)

②提案審査の実施(最優秀提案者及び優秀提案者の選定)

③その他

5. 審査概要

本プロポーザルは、審査過程において提案内容を中立、公正に審査するため、事業者からの提出書類には提案書番号を付け、事業者名を伏せた上で審査を行いました。

(審査の経過)

参加表明があった3事業者について、参加資格を有することを確認した上で提案書の提出要請を行い、提出された技術提案書を評価基準に基づき審査を行いました。また、技術提案書に基づくヒアリングについても事業者名を伏せて行いました。

全事業者のヒアリング終了後、評価基準に基づき各提案内容について審議し、各項目の評価点を合計した点数が最も高い事業者を最優秀提案者、次に評価点が高い事業者を優秀提案者に選定しました。

6. 審査講評

(1) 全体講評

枚方市では、若年・子育て世代を中心とする新たな市民層の定住を促し、持続可能な都市をめざしています。香里ヶ丘地区においては、まちづくりの一環として、香里ヶ丘図書館や隣接する香里ヶ丘中央公園等の公共施設の再整備を進めることとしていることから、当該地区の活性化を図り、市民にとって魅力的な施設整備を行うためには、ハード・ソフト面における官民連携が必要であり、PPP(Public-private partnership)の考え方にもとづく事業展開が不可欠と考えられています。

香里ヶ丘図書館の建替工事に係る設計業務においては、こうした香里ヶ丘地区におけるまちづくりの方向性や課題を踏まえ、建替工事に係る設計業務の前提となる香里ヶ丘図書館の施設機能の在り方とともに、香里ヶ丘図書館設計の基幹となる隣接する香里ヶ丘中央公園との間の機能連携強化に向けた考え方や香里ヶ丘中央公園の整備の在り方についても技術提案を求めました。

今回の募集では、まちづくりの観点から「地域の在り方についての考え方」、施設計画については「地域課題の解決に向けた考え方」、「配置計画及び敷地条件の制約についての考え方」、「施設内の空間についての考え方」、維持・運営管理の観点からは「効率的な維持・運営管理の

実現に向けた考え方」さらに「業務の実施方針」という点で、事業者からの提案を広く求めました。これに対して、3事業者から参加表明及び提案書が提出され、各事業者ともその技術力を遺憾なく発揮された内容でした。

選定審査会では、各事業者からの技術提案書に関する説明を受けて、ヒアリングを行うとともに、評価基準に則り厳正かつ慎重に審議した結果、香里ヶ丘地域のまちづくりについての考え方から香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園のつながり、香里ヶ丘図書館の内部まで具体的かつ明確な提案が優れており、総合評価点が最も高い、株式会社日立建設設計 西日本支社（提案書番号 C-1）を最優秀提案者に選定し、次に評価点が高い、株式会社徳岡設計（提案書番号 B-1）を優秀提案者に選定しました。

（2）個別講評（順位ごとに記載）

<提案書番号 C-1> 最優秀提案者 株式会社 日立建設設計 西日本支社

「みどりを活かし未来へつながる持続可能な都市」というビジョンは、枚方市の都市計画や緑の基本計画とも即しており、まち・人・風景それぞれを「つなぐ」というコンセプトのもと、新しい機能を持つ香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園のブランディング化を見据えた「香里ヶ丘モデル」の一体的な整備によってまちづくりが実現するという提案を高く評価しました。

施設計画では、様々な世代をつなぐ「本の道」という構想に基づく、一般書架と読書テラスとの連携や多目的室の柔軟な利用方法などの提案があり、様々な利用者層を想定した使いやすい動線や書架の配置などの提案からは、香里ヶ丘図書館の一層の発展が期待できます。

香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の連携についても、屋外で香里ヶ丘中央公園の自然と触れあえる「みどりの丘」で利用者が様々な目的で交流できる広場の提案を評価しました。

以上を総合し、提案者の提案が最も優れていると判断されたため、最優秀提案者として選定しました。

<提案書番号 B-1> 優秀提案者 株式会社 徳岡設計

香里ヶ丘図書館、香里ヶ丘中央公園それぞれについては、よく考えられている優れた提案でしたが、香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の連動については、ブリッジによる移動の確保に留まっており、具体的な利用形態についても、更なる提案が望まれるものでした。

配置計画では、バリアフリーのアプローチ、駐輪・駐車場の確保については、「ゆずりあいの駐車場」などが提案されており、施設計画の提案では、従来の利用状況を踏襲した児童書架への配慮について目配りが成されていますが、一般開架の閲覧スペースとしての魅力や、児童書架からの動線については検討の余地が残るものでした。

全体的には従来型の図書館としてのイメージが強く、最優秀提案者との判断に至りませんでした。

<提案書番号 A-1>

香里ヶ丘中央公園内の旧バラ園では、屋外で本を読むことができるアウトドアライブラリーとしての活用など、人の流れを取り込む空間としての優れた提案がありましたが、香里ヶ丘中央公園全体というよりは、香里ヶ丘図書館側から見た時の公園の在り方の提案に留まっており、香里ヶ丘中央公園全体のイメージや整備計画についての提案がやや手薄なものでした。

施設計画は、「本棚のゲート」といった外部空間を意識した閲覧スペースの提案が評価されま

したが、児童書架とおはなしスペースとの分離や閉架書架によるセミオープン化の提案については、現状の香里ヶ丘図書館の利用状況や今後の利用形態などを踏まえると課題があるとの評価があり、最優秀提案者との判断に至りませんでした。

7. その他

今後は、最優秀提案者から受けた技術提案を活かし、市民にとって魅力的な施設となるよう香里ヶ丘図書館設計と香里ヶ丘中央公園設計を進めることが重要となります。最優秀提案者から提案があった香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園のブランディング化や機能連携等に関する提案内容については特に高い評価をしており、この提案内容の実現に向けて、当該提案者が香里ヶ丘図書館と香里ヶ丘中央公園の設計を一体的に取り組むことが望ましいと考えます。

設計チームが一丸となって多角的な検討を行うとともに、市と連携し、平成 32 年度のオープンに向けて、着実かつ効率的に事業が遂行されることを期待します。

本事業の実施にあたり、多大な労力をかけて、高い技術力と創造力に基づいた貴重な提案をいただいた応募者の皆様には、選定審査会一同、心から敬意と感謝の意を表すとともに、御礼を申し上げます。

以上